

一貫教育校の広場

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)

オーストラリアの学校との交流プログラム

●普通部 教諭

おおくぼ まさあき
大久保正章

普通部は2015年度にオーストラリアにあるコルベ・カトリック・カレッジと交流を始めました。コルベカレッジは、西オーストラリア州の州都パースから車で1時間ほど南下した場所にある、7年生〜12年生が通う男女共学の私立学校です。2019年度は、2・3年生合わせて14名の普通部生が参加しました。

この交流プログラムは、コルベカレッジ訪問とコルベカレッジの生徒の受け入れの2つの活動が中心となります。先に普通部生が夏季休業中に12日間ほどの日程で、コルベカレッジを訪れます。平日はホストの生徒と一緒に授業を受け、週末はホストファミリーと時間を過ごします。その後、普通部の2学期にコルベカレッジの生徒が来日します。彼らが日本滞在中、普通部生はホストとしてコルベカレッジの生徒を受け入れます。歓迎会を企画したり、日本を楽しめる場所にコルベカレッジの生徒を連れて行ったりと、ホストする普通部生は大忙しになります。

コルベカレッジへの訪問で特徴的な事は、通常の授業に参加する事です。語学研修プログラムのように、英語学習者だけのグループで英語の授業を受けるのではなく、コルベカレッジの正規の授業に入り、コルベカレッジの生徒と一緒に授業を受けます。毎朝、パストラル・ケアと呼ばれる学年をまたいだ



グループで過ごす時間があり、普通部生は、自分のホストの生徒と一緒に参加します。その後の1時間目から6時間目は、ICT最先端校であるコルベカレッジで、iPadなどを活用したさまざまな授業に参加します。英語力が限られている普通部生にとって難しい授業もありますが、理解しようとして必死に努力する姿が見られます。体育、ダンス、ドラマなどの体を動かす授業、料理や美術などの作業中心の授業などもあります。これらの授業では、普通部生は、英語力だけでなくコミュニケーション能力を発揮し、コルベカレッジの生徒との交流を楽しんでいます。また、コルベカレッジには、外国語として日本語を履修している生徒が多く、日本語の授業では双方の生徒が英語や日本語を使い、それぞれの言語や文化を題材にして日豪相互の理解を深める機会になっています。

プログラム開始から5年が経過し、さまざまな形で交流が深まっています。まず、教員同士の交流が進み、より落ち着いてプログラムを運営できるようになりました。また、高校生や大学生になった以前の参加者が、交流プログラムを手伝ってくれています。長期休みの期間に、お世話になったホストファミリーを訪ねるなど、このプログラムがきっかけになり、長く交流が続いているケースもあるようです。